

# BCP (Business Continuity Plan)

この事業継続計画（BCP）は、地震や台風などの自然災害や、火災、テロ・戦争、サイバーテロ、新型インフルエンザなどの緊急・重大な事象が発生し医療業務の継続が困難になった時に、中核となる事業を継続し、あるいは中断してもできるだけ短期間で再開させることにより被害を最小限にとどめることを目的として作成されています。

医療機関名	
作成日	年 月 日

---

この資料は比較的小規模の医療機関が BCP を簡便に作成できるように作られています。  
表内の各項目に記入をして下さい。

# BCP の基本方針

BCP 策定・運用の目的	<ul style="list-style-type: none"><li>□災害時に、地域住民の命を守るために医療機能を継続させることは医療機関の重要な責務である。</li><li>□事業継続・早期復旧は職員の生活を守るためにも重要である。</li><li>□被害想定の下、あらかじめ対応策を検討し、訓練を行い、関連機関と連携を深めることで、災害時の業務中断を最小限に止め、早期復旧を実現する。</li></ul>
BCP を実施する上での行動基準	<ul style="list-style-type: none"><li>□職員の安全を最優先する。</li><li>□来院者の安全確保に注力する。</li><li>□施設・設備、通信の保全対策を行う。</li><li>□平時より関係機関との連携を強化する。</li><li>□重要な医療業務を優先的に復旧・継続する。</li><li>□災害発生時には頭の中を災害モードに切り替える。注)</li><li>□Command control 指揮の確立、Safety 安全の確認、Communication 情報伝達、Assessment 評価、Triage 優先事項の実施(CSCAT)を常に念頭に置く。注)</li></ul>

大規模災害に見舞われた時にどのように対処するべきか。「目的」では自身の医療機関が患者さんにとって、従業員にとって、地域にとってどのような存在であるのか考慮し目標を簡潔に示します。「行動基準」では、全従業員が迅速に適切な行動ができるよう行動判断の基準となる理念を明示します。必要な事項を追記して下さい。

注) 解説が後述の災害対策のゴールデンルールにあります。

# BCP の策定・運用体制

1. BCP の作成体制		
①責任者		
②サブリーダー（複数可）		
2. 平時における BCP の運用推進体制		
①責任者		
②サブリーダー（複数可）		
③連携する取引先企業や協力会社		
④一緒に取り組む組織	浜松市医師会	
⑤BCP 運用の対象者	従業員・協力会社の全員	
3. 緊急時における BCP の発動体制		
①責任者		代行者
②来院者対応サブリーダー（役職名可）		代行者
③従業員対応サブリーダー（役職名可）		代行者
③協力会社対応サブリーダー（役職名可）		代行者
④その他のサブリーダー		
備考		

1. BCP の作成は少人数のプロジェクトにて短期間集中で行って下さい。2. 平時は BCP に基づく備蓄・訓練の実施、協力会社との意見交換、内容の定期的な見直しを行って下さい。3. 緊急時の発動体制では代行者も必ず指名して下さい。

# 中核事業と重要業務

1. 当医療機関の事業内容	
院内業務： <input type="checkbox"/> 外来診療 <input type="checkbox"/> 外来検査 <input type="checkbox"/> 外来手術 <input type="checkbox"/> 外来リハビリ <input type="checkbox"/> 検診 <input type="checkbox"/> 予防接種 <input type="checkbox"/> 産業医 <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 往診 <input type="checkbox"/> 在宅医療 <input type="checkbox"/> デイケア <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 施設委託医 <input type="checkbox"/> 入院診療 <input type="checkbox"/> 出産	
院外業務： <input type="checkbox"/> 応急救護所への出動	
2. 上記の内社会的必要性の高い事業	<input type="checkbox"/> 応急救護所への出動
3. // 経営維持のために必要性の高い事業 (平時収益の 50-60%超が目標)	<input type="checkbox"/> 外来診療

4. 当医療機関が災害時にも継続すべき中核事業 (上記の内容を検討し、継続すべき中核事業を下記の様に定める。)	
<input type="checkbox"/> 応急救護所への出動 <input type="checkbox"/> 外来診療	

5. 中核事業を継続するための重要業務	
<input type="checkbox"/> 医薬品の調達 <input type="checkbox"/> 物品の調達 <input type="checkbox"/> 受付業務 <input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 処方箋発行	

災害復旧時に優先させるべき業務を明らかにすることは事業継続・早期復旧を目指す上で重要です。表に従い中核事業と重要業務を明確にして下さい。該当するものにはチェックを、追記すべきものは追記をして下さい。

# 各種災害リスクの評価

想定される災害		参考事項	リスク評価
地震		想定震度、液状化の有無 類焼危険度、建屋の耐震性	<input type="checkbox"/> 想定震度は震度6弱以上である 震度_____ <input type="checkbox"/> 液状化の可能性が高い <input type="checkbox"/> 類焼危険度が高い <input type="checkbox"/> 建屋の耐震性が低い
津波		津波浸水地区 津波到達時間	<input type="checkbox"/> 津波浸水地区である <input type="checkbox"/> 津波到達時間 _____分
風水害	河川の氾濫	浸水予測地区	<input type="checkbox"/> 浸水予測地区である
	土砂災害	危険地区、警戒地区	<input type="checkbox"/> 危険地区である <input type="checkbox"/> 警戒地区である
	高潮	海拔	<input type="checkbox"/> 海拔_____m
	その他		
パンデミック		ハイリスク者の割合 院内感染の危険性	<input type="checkbox"/> ハイリスクの患者さんが多い <input type="checkbox"/> 院内感染の危険性が高い
その他			

地震、津波、河川の氾濫、土砂災害などは浜松市のハザードマップから当該地の危険度を調べることができます。高潮のハザードマップはありませんが台風の巨大化と日本近海の海水温上昇により大規模な高潮が発生する危険度が高まっています。磐田市、掛川市では甚大な高潮被害を受けた歴史もあります。

# インフラ喪失による重要業務への影響

主要インフラ	具体的影響
電気	<input type="checkbox"/> 照明の停止 <input type="checkbox"/> エアコンの停止 <input type="checkbox"/> レセコン・電子カルテの停止 <input type="checkbox"/> パソコンの停止 <input type="checkbox"/> コピー機の停止 <input type="checkbox"/> 院内電話機停止 <input type="checkbox"/> 滅菌器停止 <input type="checkbox"/> レントゲン装置停止 <input type="checkbox"/> 各種検査機器停止 <input type="checkbox"/> 自動ドア・エレベーター停止 <input type="checkbox"/> テレビの使用不可 <input type="checkbox"/> 洗濯機・乾燥機停止
電話回線	<input type="checkbox"/> 緊急連絡・安否確認の障害 <input type="checkbox"/> 業務再開指示の障害 <input type="checkbox"/> 物品の発注障害 <input type="checkbox"/> 処方確認の障害 <input type="checkbox"/> 病院との連携の障害
インターネット回線	<input type="checkbox"/> メール・SNS の障害 <input type="checkbox"/> 電子カルテ障害の可能性 <input type="checkbox"/> 物品の発注障害
上水道	<input type="checkbox"/> トイレ使用不可 <input type="checkbox"/> 衛生管理の障害 <input type="checkbox"/> 滅菌機使用不可
下水道	<input type="checkbox"/> トイレの使用不可 <input type="checkbox"/> 汚水排水不可
ガス	<input type="checkbox"/> 給湯障害
交通	<input type="checkbox"/> 物品の供給途絶 <input type="checkbox"/> 搬送の障害 <input type="checkbox"/> 産業廃棄不可

考えられる影響を追加してください。この評価に基づき災害対応データベースフォームの備蓄計画・実施状況リストを作成してください。

# 災害発生段階ごとの実施業務

平常時	警戒期	災害発生	初動期	緊急対応期	復旧期	業務再開期
<input type="checkbox"/> BCP の策定 <input type="checkbox"/> 資源備蓄 <input type="checkbox"/> BCP 教育 <input type="checkbox"/> BCP 演習	<input type="checkbox"/> 情報収集 <input type="checkbox"/> 保全対策 <input type="checkbox"/> 避難準備 <input type="checkbox"/> 避難開始	<input type="checkbox"/> 安全確保・避難 <input type="checkbox"/> 初動体制の構築 <input type="checkbox"/> 災害対策本部設置 <input type="checkbox"/> 緊急連絡	<input type="checkbox"/> 火災の有無確認 <input type="checkbox"/> 建屋周囲の安全確認 <input type="checkbox"/> 被害状況の把握 <input type="checkbox"/> 安否確認 <input type="checkbox"/> 救命・救助 <input type="checkbox"/> 二次被害発生防止	<input type="checkbox"/> 施設設備応急復旧 <input type="checkbox"/> 要員確保 <input type="checkbox"/> 物流確保 <input type="checkbox"/> 地域被災者の支援	<input type="checkbox"/> 業務再開 <input type="checkbox"/> 目標復旧時間達成 <input type="checkbox"/> 被災従業員の生活・再建支援	
目標復旧時間・日数			時間	日	日	日

空欄へは各医療機関にて発生段階ごとに追加して実施すべきことを記入して下さい。部署ごと、災害の種別ごとに分けて作成することも可能です。その際は表題横に部署名、災害種別の記入もして下さい。目標復旧日数も定めてください。収益が無い状態で固定費を支払続けることができる日数が業務再開までの最大限度となります。

# 重要業務人員配置

重要業務	責任者	主要作業人員配置			備考
		作業内容	現担当者	代替可能者	

重要業務に最小限必要な人員配置を検討します。代替可能者の有無も重要です。

## 重要業務に必要な施設・設備と代替設備

業務内容	必要な施設・設備	代替え設備
<input type="checkbox"/> 受付業務 <input type="checkbox"/> 外来診察 <input type="checkbox"/> 処方箋発行	<input type="checkbox"/> 電子カルテ <input type="checkbox"/> レセコン <input type="checkbox"/> 診察券発券機 <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> 滅菌器 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 紙カルテ <input type="checkbox"/> 紙処方箋 <input type="checkbox"/> 複写用カーボン紙 <input type="checkbox"/> 各種ディスプレイ用品 <input type="checkbox"/> 仮設・簡易トイレ <input type="checkbox"/> 簡易給水バック

重要業務を継続に必要な施設・設備をリストアップし可能な代替品も検討して下さい。



# 資金調達

資金調達先・交渉担当者	資金調達手段・方針等	備考

災害時には急速にキャッシュフローが悪化することを織り込んでおく必要があります。事前に資金調達について検討・相談した事項に関する情報を上記に整理して下さい。

# 災害対応データベースの整備

災害対応データベースフォームへの記入もして下さい。

従業員連絡先リスト

主要供給者・業者リスト

設備関連・業者リスト

外部支援機関リスト

備蓄計画・実施状況リスト

以上を揃えて BCP が出来上がります。

## 追加事項

比較的規模の大きい医療機関では下記のを追加して下さい。

災害対策組織図

緊急連絡網

職員参集ルール

参加可能人員予測

医療需要の推移予測

被害状況確認シート

緊急対応シート

フロアレイアウト

各部署の優先業務と必要資源

各部署の発生段階ごとの実施業務

# 日常の活動

1. BCP が作成されたら、それに基づき備蓄や訓練の実施を行って下さい。
2. 定期的に BCP の見直しも行って下さい。
3. 建物の耐震診断や家具の固定など減災への取り組みも重要です。防災アクションプランも利用して下さい。

# 災害対策のゴールデンルール

## 1. 災害モードスイッチを入れよ。

いざ災害が発生した時には、いち早く頭の中を災害モードに切り替える必要があります。これにより通常ではない状況を素早く認識し、自身や救護チームの行動様式を変容させることが出来ます。深刻な災害では、人は正常バイアスと集団協調性バイアスと呼ばれる思い込みをしてしまいます。極めて危険な状況にもかかわらず、いつもと変わらない行動を集団で取ってしまう可能性があり、危険回避や救護活動が遅れる原因となります。災害モードスイッチを入れることでこれを避けて下さい。

## 2. 災害はさまざま、解決策は一つ（オールハザード対応）

災害は多様であり、その全てに対応できる詳細な対策を立てることは不可能です。しかし、どの様な危機に対しても「優先度に従い行動する」という手法を取り入れることにより、さまざまな災害に対して常に同じ手順で対応することが可能になります。これは蘇生の ABC と同じ原理です。災害医療においては CSCATTT です。Command 指揮の確立、Safety 安全の確認、Communication 情報伝達、Assessment 評価、Triage トリアージ、Treatment 治療、Transport 搬送。これは最も重要な災害ルールとされています。

## 3. 災害対策は準備が 9 割

当然ながら、被災後の医療救護活動には制約があります。したがって災害対策のほとんどは発災前に行っておく必要があります。「無計画は失敗を計画することと同じ」というルールもあります。

本プログラムは、多くの災害ルールの中から上記のルールを重視し、それに基づき作成しました。

## 参考文献

防災士教本. 日本防災士機構

防災フレームワーク. 日本防災士会

佐々木勝: 医療従事者のための災害対応アプローチガイド. 新興医学出版社

佐々木勝: 病院のBCP 災害時の医療継続のために. 新興医学出版社

ロブ・ラッセル他: 災害ルール. ヘルス出版

京盛眞信他: 中小企業経営者のためのQ&A でわかるBCP策定の実務. 税務経理協会

山根義信他: 会社を守る防災マニュアルの作り方. マネジメント社

後藤真澄他: 災害時の要介護者へのケア. 中央法規